

シニアの自動車運転免許証（アルバータ州）

アルバータ州では75歳になると、自動車の免許を更新する前に健康診断をする必要があります。この健康診断を「運転手の健康診断（Driver's Medical Examination）」と言います。この健康診断に合格すれば、80歳の誕生日まで5年間有効な免許を取ることができます。運転手の健康診断は80歳、82歳、84歳、86歳、、、で免許書を更新するたびに必要になります。

運転手の健康診断は通常、家庭医に依頼します。アルバータ政府の定めた「自動車運転のための健康診断書（Medical Examination for Motor Vehicle Operators）」の項目の診断をします。診断項目は次のとおりです。

1. 視力：自家用車の運転（第5種免許）には良い方の眼の視力が20/40以上、悪い方の眼の視力が20/200以上、両眼の視力（両方の眼で視た時）が20/50以上が必要です。健康診断の前に検眼医に調べてもらい、必要なら新しい眼鏡を購入します。
2. 聴力：バス、タクシーなどの特殊な車を運転する人だけに必要な検査です。
3. 心臓関係、神経関係（認知症、身体動作の検査を含む）、呼吸器関係、消化器関係、精神疾患、その他

家庭医はそれぞれの検査項目について、（1）疾患有り、（2）疾患無し、（3）専門医の診断が必要、のいずれかの回答をします。そして総合的に判断して、自家用車（または他の車両）の運転に必要な健康診断に合格したかどうかを、健康診断書に書きます。

合格した時は、この書類をもって自動車免許証発行代理店（Registry）で75歳、80歳、その他の誕生日前に免許証を発行してもらいます。

健康診断に不合格な場合はつぎのようになります。

- 健康診断には合格したが、路上運転試験を受ける必要あり、健康診断書に書かれた時は通常の運転免許証を取るときの同じ路上運転試験を受けます。
- 路上運転試験に合格した時は、健康診断書と路上試験合格証書を自動車免許証発行代理店に提出して運転免許証を発行してもらいます
- 路上運転試験に不合格な場合は、再度、試験を受けることができます。路上運転試験に不合格な人でも第7種免許証を発行してもらえば、第5種運転免許証を持つ人が同乗していれば、運転できます。

専門医の診断が必要とされた時は、主に運転に必要な反射神経と運動能力があるかどうか問題になります。

- コンピュータによる反射神経試験、作業療法士などによる試験を受け、その結果と健康診断の結果をアルバータ政府運輸省で審査します。
- 審査に合格すれば免許証を取得できます。
- この審査に不合格な時、または路上試験に不合格で、自動車の運転を中止した人は他の移動手段を用います。「シニアの移動手段（アルバータ州）」を参照してください。

参照：Alberta Motor Association, “Driver's License for Seniors,” amainsider.com/how-licensing-as-you-age/

経験談

その1：

80歳の誕生日の一月前に家庭医者による「運転手の健康診断」を受けました。COVID-19で家庭医とのあポイントメントは電話による会話が多いですが、この健康診断は面接でした。「自動車運転のための健康診断書」は診療所に用意してありました。家庭医なので、診断書の項目についての私の健康状態はわかっていますが、それでも、毎年的一般健康診断と同様な血圧検査などの検査をしました。また視力のテストは、この健康診断を受ける六ヶ月前に検眼医に行って確かめてありました。診断は15分ほどで終わり、無事合格しました。これから2年ごとにこの健康診断を行なうとなると、不合格になった場合の移手段のことも考えておかななくてはならないとおもいました。